

# 『次世代論集』執筆要領

## 1. 使用言語

日本語または英語とする。原稿は、ネイティブ・スピーカーによるチェックを済ませ、完全な文章にして投稿すること。

## 2. 字数の制限

### ・本文について

文字数は、原則として以下の通りとする。

#### 【和文】

論文および研究ノート 20,000字以内  
書評は10,000字以内

#### 【英文】

論文および研究ノート 7,000ワード以内  
書評は3,000ワード以内

和文、英文ともに、規定の文字数を大幅に超えるものは不採用とする。文字数には、注、参考文献も含める。図表は文字数に含まない。

### ・要約について

論文・研究ノートについては、「日本語の題名、日本語の要約(300文字以内)」、英文の場合は「英文の題名、英文の要約(100ワード以内)」を本文とは別の1ファイルにまとめること。なお、本文・要約ともに原稿は原則としてA4サイズ用の紙に横書きで、ワープロ印字であること。

## 3. 投稿方法

**MS-WORDファイル**(本文、要約)とともに、査読用に執筆者本人を匿名化した**PDFファイル**(ファイル名に著者名を記名)の3点を指定されたアドレスまで提出すること。

ファイル名の例:

(本文)大隈重信〇〇に関する研究.docx

(本文)大隈重信〇〇に関する研究.pdf

(題名・要約)大隈重信〇〇に関する研究.docx

## 4. 使用するフォント

投稿の際には、フォントは、和文の場合MS明朝10.5pt(英数字についてはTimes New Roman 10.5ptも可)を使用する。英文の場合は、Century 12pt、あるいはTimes New Roman 12ptとし、和文英文ともに本文の行間を1行とする。

## 5. 製本段階での原稿ページレイアウト

製版の際にはB6版に変換する。採用された論文については、B6版のレイアウト確認・修正を地域・地域間研究機構事務局との間で行う。

## 6. 抜刷

抜き刷りは作成しない。投稿者一人につき5部ずつ本誌を提供する。

## 7. 発行回数

原則として毎年1回発行する。本会が必要と判断した際には複数回発行できる。

## 8. 各節の表記方法

和文、英文とも、論文内では「節(Section)」に分けること。たとえば、各節の表記方は、以下のようになる。

例1(日本語)

1.

(1)

①

(2)

(3)

例2 (英語)

1.

1.1

1.1.1

1.1.2

1.2

2.

9. 図表に関する注意点

図表の出所を明確にする。図については、図番号、表については、表番号を順番につける。図表は原則として、筆者作成のものをそのまま製版するので、原図を明確に作成すること。写真は図として扱う。

・日本語原稿の場合

図1 日本のジニ係数の推移

(注)

(出所)

表1 日本のジニ係数の推移

(注)

(出所)

・英語原稿の場合

Fig.1 Japan's Gini coefficient

Note:

Source:

Table 1 Japan's Gini coefficient

Note:

Source:

10. 文献引用と参考文献の表記方法

和文、英文とも、文献引用と参考文献の表記方法は、所属学会等の関連学会の要項を参照してよい。関連学会のないものは、以下を参照すること。

直接引用する場合に、3行以下の文章を引用する場合には、和文の場合は本文中に「」で、英文の場合は“”で括る。3行を超えるものはブロック引用にする。

(1) 本文における文献引用は、「……である(鈴木 2000, p. 2)」とする。英文では(Suzuki 2000, p. 36) のようにする。

(2) 本文における注記の付け方は、「……である<sup>1)</sup>。」とする。英文の場合は、“A is B.<sup>1)</sup>” のようにする。

(3) 注記、参考文献は論文末に一括掲載する。

注記

(4) 参考文献の書き方については、所属学会等の関連する学会の書き方を参照してよい。関連学会のないものは、以下のようにする。

・日本語単行本: 著者(発行年)『書名』出版社名。

(例) 弦間正彦ほか編(2010)『世界政治経済と日本・米国・中国: グローバル危機と国際協調』東洋経済新報社。

・日本語雑誌論文: 著者(発行年)「題名」『雑誌名』〇号, pp. - .

(例) 弦間正彦(2007)「EUへの市場統合と農業発展—ポーランドとリトアニアの事例研究」『早稲田社会科学総合研究』8(1), pp. 1 - 21.

・英語単行本: 著者(発行年). 書名. 発行地: 発行所.

(例) Boehmer, Elleke (2015). *Indian Arrival*. New York: Oxford University Press.

・英語雑誌論文: 著者. (発行年). タイトル. 雑誌名, 巻, 号, 頁

(例) Duss, Peter. (1971). “Review of The Japanese Oligarchy and the Russo-Japanese War, by Okamoto Shumpei.” *Journal of Asian Studies*,

Vol. 30, no. 4, 89-98.

・日本語インターネット掲載論文：著者（発行年）  
「タイトル」、ホームページ掲載機関名、URLアド  
レス（閲覧日）。

（例）大西裕、2016、「韓国選挙管理委員会の強さ  
の意味」、ジェトロ・アジア経済研究所。

[http://d-arch.ide.go.jp/idedp/ZWT/ZWT201608\\_004.pdf](http://d-arch.ide.go.jp/idedp/ZWT/ZWT201608_004.pdf)（2016年10月14日アクセス）。

・英語インターネット掲載論文：著者（発行年）タ  
イトル、ホームページ掲載機関名、URL アドレス（閲  
覧日）。

（例）Brown, Archie. (1989) “The False God of  
the Strong Leader.” St Antony’s College,  
University of Oxford.

<http://production.sant.ox.ac.uk/sites/default/files/1201-st-antony-antonian-07iwebs.pdf>  
(accessed October 14, 2016) .

・注1：同一著者、同一発行年が複数ある場合は、  
(1998a)、(1998b) のようにa、b、c を付加して  
区別する。

・注2：2行にわたる場合は2行目を降を全角1  
文字（英数3文字）おとして記述する。